

建設通信新聞

優秀賞3者を表彰 新支部長に横山氏

測量協九州

日本測量協会九州支部技術センター(後藤勝広センター長)は17日、福岡市内のホテルで九州地区の2024年公共測量品質管理優秀賞の表彰式を開いた。写真。基準部門で選ばれたオリエンタアイ



エヌジー(長崎市)とプライム技術開発(福岡市)、地図部門のパスコ熊本支店(熊本市)の3者に協会本部の住田英二専務理事が記念の盾を手渡した。

表彰制度は、05年4月の「公共工事の品質確保の促進に関する法律(品確法)」の施行を機に創設し、今回で20回目を迎える。前年度に実施した公共測量成果の検定で品質が特に優れていた測量作業機関を表彰する。

住田専務理事は「この表彰は、きちんとした測量成果が質の高いインフラの基礎を担保するという意味で非常に意義深い取り組みだ。受賞しなかった皆さんもわれわれと一緒に前向きに取り組んでほしい」とあいさつした。

6年ぶり2回目の受賞となったオリエンタアイエヌジーの中島靖人代表取締役は「今回の受賞は顧客満足度を追求した結果だと思っている。次



新支部長の横山氏

はより短期間でこの場に來られるように頑張りたい」と語った。

表彰式の前には同支部の第61回定時業務報告会が開かれた。大成ジオテックの横山巖社長が新支部長に就任したほ

か、24年度事業計画・収支予算、支部事務所の移転に関する報告などがあった。

横山新支部長は「新しい体制で九州支部の活動を鋭意進めるので皆さんのご支援をお願いしたい」とあいさつした。